

この度、町では川俣町国民健康保険第3期データヘルス計画等を策定しました。
その概要についてお知らせします。

川俣町国民健康保険第3期データヘルス計画 及び第4期特定健診等実施計画 **概要版**

1 背景・目的

平成26年3月、国民健康保険法に基づく保健事業の実施等に関する指針において、市町村国保及び国民健康保険組合は、健康・医療情報を活用してPDCAサイクルに沿った効果的かつ効率的な保健事業の実施を図るための保健事業の実施計画（データヘルス計画）を策定したうえで、保健事業の実施・評価・改善等を行うものとしました。

本町においては、幅広い年代の被保険者が存在するため、これらの年代の身体的な状況等に応じた健康課題を的確に捉え、課題に応じた保健事業を実施することにより、健康の保持増進、生活の質（QOL）の維持及び向上が図られ、結果として、健康寿命の延伸化及び医療費の適正化に資することを本計画の目的とします。

2 計画期間

計画期間は、都道府県における医療費適正化計画や医療計画等が、令和6年度から11年度までを次期計画期間としているので、これらとの整合性を図るため、令和6年度（2024年）から令和11年度（2029年）までの6年間とします。

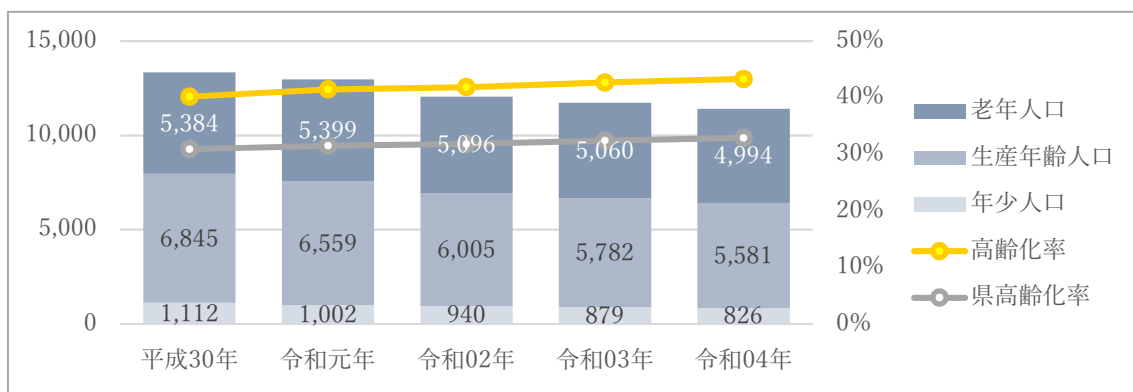
3 健康医療情報の分析

（1）人口構成の推移

人口は11,215人（現住人口・令和5年10月1日現在）であり、平成30年人口と比べ2,183人減少しています。人口構成割合をみると、老年人口割合が増加傾向にあり、年少、生産年齢人口割合が減少傾向にあります。

高齢化率は令和4年43.3%で、75歳以上の割合はその約半数を占めています。

○人口及び人口構成の推移（人）



※出典：福島県現住人口調査月報 平成30年～令和04年版（10月時点）

（2）医療費及び疾病内訳

国保年間医療費は約11億円、後期年間医療費は約22億円と前年から増加しています。国保1人当たり医療費は平成30年と比較して34,992円増加し、後期は192円増加しています。また、国保、後期ともに受診率が増加しています。

国保の受診率は882.69%、後期高齢者医療の受診率は1290.49%であり、また概ね国保は月0.9回、後期高齢者は月1.3回医療機関を受療しているとみなすことができます。

○国保総医療費及び後期総医療費の経年比較

	国保			後期		
	医療費	1人当たり 医療費	受診率	医療費	1人当たり 医療費	受診率
平成30年	1,145,563千円	359,832円	838.86%	2,330,657千円	792,948円	1282.56%
令和元年	1,197,507千円	396,564円	845.24%	2,389,078千円	819,960円	1264.62%
令和2年	1,098,141千円	373,332円	829.62%	2,188,733千円	768,252円	1220.28%
令和3年	1,099,827千円	376,104円	857.49%	2,160,523千円	785,736円	1249.94%
令和4年	1,115,137千円	394,824円	882.69%	2,202,028千円	793,140円	1290.49%

(3) 特定健診・保健指導の状況

特定健康診査受診率は、新型コロナウイルス感染症の影響により令和2年度は下がったものの、回復傾向にあります。一方、特定保健指導実施率は下がっているため、さらなる取組が必要となります。

○特定健康診査受診率（年度別）

	健診対象者	受診者数	受診率	順位
令和2年	2,302人	950人	41.3%	県内39位
令和3年	2,279人	974人	42.7%	県内49位
令和4年	2,141人	996人	46.5%	県内40位

○特定保健指導受診率（年度別）

	対象者	実施者	終了率
令和2年	120人	42人	35.0%
令和3年	117人	23人	19.7%
令和4年	120人	22人	18.3%

4 第2期データヘルス計画に係る評価と考察

平成31年度から令和5年度までの第2期データヘルス計画では、各種保健事業に取り組みました。結果、一部目標値を達成できましたが、目標値を達成できなかった事業があるため、次期計画においては実施体制等を見直した上で町の課題に焦点を絞り、各種保健事業に取り組んでいきます。

○個別保健事業実施計画の評価

No.	個別保健事業	第2期計画の達成状況	次期計画の方向性
1	特定健診未受診者対策事業	目標値を達成できた	継続
2	特定保健指導事業	目標値を達成できなかった	継続
3	生活習慣病重症化予防事業	目標値を達成できなかった	継続
4	ポピュレーションアプローチ	一部目標値を達成できた	別保健事業に統合

5 健康課題の明確化

令和4年の平均余命及び平均自立期間は、男女ともに県、国と比べて短くなっています。平均余命から平均自立期間を引いた不健康期間は、男性では1.6年、女性では2.9年となっています。

町では、新生物の医療費割合が最も高く、次いで循環器系の疾患、精神及び行動の障害が高い状況であります。循環器系の疾患の中でも心疾患死亡率が高く、脳血管疾患、その他の心疾患は 80 万円以上の高額医療に占める割合が高く、要介護認定者の有病状況でも心臓病が高い状況にあります。

6 目的・目標の設定

本計画では、「健康寿命の延伸」及び「医療費の適正化」を目的とし、この実現に向けて「中長期目標」及び「短期目標」を設定します。

(1) 中長期目標

本町においては、「脳血管疾患」、「虚血性心疾患」による死亡率が非常に高い割合を占めていることから、中長期的にこれらの患者数を減らすことを目標とします。

○中長期目標

項目	指標	目標値		
		計画策定時実績	中間評価年度	最終評価年度
		R4	R8	R11
虚血性心疾患数の減少	R4 年度比 4 人減	84 人	82 人	80 人
脳血管疾患患者数の減少	R4 年度比 7 人減	108 人	104 人	101 人
人工透析患者数の抑制	R4 年度比 2 人減	7 人	6 人	5 人

(2) 短期目標

中長期目標を達成するため、特に重要となる特定健診受診率・各種保健指導率向上に加え、脳血管疾患、虚血性心疾患の血管変化における共通のリスクとなる「高血圧」、「高血糖」、「脂質異常」、「メタボ」該当者等割合を減らしていくことを短期的な目標とします。

○短期目標

項目		指標	目標値		
			計画策定時実績	中間評価年度	最終評価年度
			R4	R8	R11
特定健診受診率の向上		53%以上	46.5%	50.0%	53.0%
特定保健指導率の向上		36%以上	18.3%	28.5%	36.0%
重症化予防保健指導・医療機関受診勧奨率の向上		25%以上	1.2%	16.0%	25.0%
メタボ該当者・予備群割合の減少		R4 年度比 3.6pt 減少	36.6%	34.5%	33.0%
高血圧	Ⅱ度高血圧以上割合の減少	R4 年度比 1.4pt 減少	5.3%	4.5%	3.9%
高血糖	HbA1c6.5%以上(未治療者)割合の減少	R4 年度比 0.7pt 減少	2.7%	2.3%	2.0%
	HbA1c7.0%以上(治療者)割合の減少	R4 年度比 1.4pt 減少	7.8%	7.0%	6.4%
脂質異常	LDL-C160mg/dl 以上割合の減少	R4 年度比 1.4pt 減少	10.0%	9.2%	8.6%
	中性脂肪 300mg/dl 以上割合の減少	R4 年度比 0.7pt 減少	3.5%	3.1%	2.8%

7 保健事業実施計画

中長期目標及び短期目標を達成するために、下記の個別保健事業を実施します。

ストラクチャー（実施体制）については、国保部門が主体となり、健康増進部門ほか、委託を含め関係団体等と連携の上進めていきます。

No.	事業名称	プロセス (実施方法)	評価指標		R4 実績	目標値
1	特定健康診査 (人間ドック等 含む)	40 歳以上の国保被保険 者に対し、特定健診受診 勧奨・広報等を実施	アウト カム	特定健診受診率 (%) の 向上	46.5%	53%
			アウト プット	未受診者勧奨割合 (%) の維持	100%	100%
2	早期介入保健 事業	若年層 (19~39 歳) の国 保被保険者に対し、健診 の受診勧奨・保健指導を 実施	アウト カム	40 歳から 44 歳代の 特定健診受診率 (%) の 向上	14.4%	21.0%
			アウト プット	若年層健診受診率 (%) の向上	9.3%	23.0%
3	特定保健指導	特定保健指導対象者に 対し、生活習慣の改善を 重点とした保健指導実 施	アウト カム	メタボ該当者・メタボ 予備群割合 (%) の減少	36.6%	33.0%
			アウト プット	特定保健指導実施率 (%) の向上	18.3%	36.0%
4	糖尿病性腎症 重症化予防	糖尿病でありかつ腎機 能が低下している者 (未 受診、中断者) に対する 受診勧奨	アウト カム	保健指導者の医療機関 受診率 (%) の向上	—	20.0%
			アウト プット	保健指導実施率 (%) の 向上	12.5%	25.0%
5	重症化予防保 健指導・医療機 関受診勧奨	重症化の危険がある方 に個別又は集団による 保健指導・医療機関受診 勧奨を実施	アウト カム	医療機関受診割合 (%) の向上	—	20.0%
			アウト プット	保健指導・受診勧奨割 合 (%) の向上	1.2%	25.0% ※1
6	適正受診・適正 服薬促進	重複受診、頻回受診、重 複服薬、多剤投与者に対 し、受診指導や通知発送	アウト カム	保健指導・通知後の改 善割合 (%) の向上	—	20.0%
			アウト プット	保健指導・通知指導実 施割合 (%) の向上	26.7%	50.0%
7	後発 (ジェネリ ック) 医薬品促 進	先進医薬品を処方され ている被保険者に対し、 ジェネリック医薬品促 進通知、広報	アウト カム	ジェネリック医薬品利 用率 (数量ベース) (%) の向上	88.3%	89.7%
			アウト プット	通知率 (%) の維持	100%	100%

【用語解説】アウトカム指標・・・成果指標 / アウトプット指標・・・実施量・率指標

※1 前計画における実施方法は保健指導のみ。本計画から実施方法を変更している。

令和6年3月 川俣町保健福祉課策定